

総合教育センターだより

教師力の向上に向けて

京都府教育委員会では、平成18年度に『教師力』向上に関する検討委員会（座長 山口 満びわこ成蹊スポーツ大学教授）を設置し、京都府「人材育成の基本方針」、「求められる京都府の教員像」及び「人材育成の方策」について諮問し、審議をお願いしてきました。

昨年秋には、同委員会から「具体的な人材育成方策に関する提言」をいただきました。

これを受けて、平成19年度、総合教育センターでは、次のような取組を進め、京都府の教師力向上に向けて学校や教職員の支援に努めていきます。



新		旧
総務部	事務執行体制の整備	事務部
企画研究部	企画、研究推進	企画教育部
研修・支援部	研修推進、学校支援	教職教育部
特別支援教育部	教育相談体制の整備	同左
教育相談部		教育相談室
〈北部研修所〉		
科学技術教育部		同左
北部教育相談室		同左

目次

平成19年度研修講座の体系	2	不登校やいじめなどの今日的な課題への対応	8
初任者・新規採用者研修	3	校内研修を支援する講座	9
指導者養成講座	4	現地現場のニーズに対応（出前講座）	10
個性の伸長や得意分野づくりを支援するための選択講座	5	子どものこころ セミナー	11
人材育成の力を結集し、「地元パワー」を活用した研修講座	6	教育研究プロジェクト	12

教師力、学校力の向上を支援します

- I 次代を担う教員の資質能力の向上を支援
- 1 若手教職員の育成と指導者層の養成 講座の改編 1 講座の改編 2
 - 2 実践的指導力と専門性の向上 講座の改編 3 講座の改編 4 講座の改編 5
- II 学校等での人材育成を支援
- 3 校内研修を支援する講座を実施 講座の改編 6
 - 4 出前講座を新設し、現地現場のニーズに対応 講座の改編 7

経験年数	平成19年度研修講座の体系 主な講座の改編	参照頁
初任	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>基本研修 実践的指導力の向上を図る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>初任者・新規採用者研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科指導に関する時間数を増加 ○実践的指導力向上に向け、学校現場の教員から直接学ぶ機会を充実 ○担任制、モジュール化をより効果的に実施し、2年目以降の研修との連続性を強化 </div> </div>	3
2年～5年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2～5年目研修(必修講座)</p> <p>4年目教職員も受講が可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○初任者研修との連続性を高めるため2年目「共通」講座を新設 ○教科指導力を高めるため、「授業実践演習」講座において、模擬授業の内容等を改善 </div>	5
6年～10年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>10年期研修(必修講座)</p> <p>共通講座 社会体験活動講座 小中・生徒指導講座（教育局実施）</p> </div>	5
11年～	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>専門研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元京都の大学・企業等との連携による専門性の高い講座に充実 ○出前講座の新設 </div>	5～10
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指導者養成研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元京都の企業等との連携により、講座を充実 ○特色ある学校づくり、学校組織の活性化を支援 ○校内研修等における授業研究の活性化を支援 </div>	4 9
<p>※20年期研修は廃止</p>		

若手教員の育成と指導者層の養成 人材育成の力の結集 学校等への直接的な支援 研究成果を基盤とした学校支援
 次代を担う教職員の資質・能力の向上を支援 学校等での人材育成を支援
 I T E C 活 用 英 語 e ラ ー ニ ン グ

初任者・新規採用者研修を充実させます

講座の改編 1



優れた授業の参観による授業実践力の向上

初任者研修（授業参観）では、「優秀教職員」、「授業の達人」等による優れた授業技術に直接触れて学べる機会を増やします。

- 夢・未来校等における小学校・中学校の授業参観 新規
- 授業の達人による高等学校の授業参観 新規

	18年度	19年度
小学校	授業参観実習 (初任者配置校において研究授業、公開授業を参観)	授業参観Ⅰ (「優秀教職員」等による授業を参観) 授業参観Ⅱ (初任者配置校において研究授業、公開授業を参観) 授業参観Ⅲ (夢・未来校等において実践発表及び授業を参観)
中学校	授業参観Ⅰ (教科別に府内公立中学校において授業を参観) 授業参観Ⅱ (初任者配置校において研究授業、公開授業を参観)	授業参観Ⅰ (教科別に府内公立中学校において授業を参観) 授業参観Ⅱ (初任者による研究授業を参観) 授業参観Ⅲ (「優秀教職員」等による授業を参観) 授業参観Ⅳ (夢・未来校等において実践発表及び授業を参観)
高等学校	授業参観Ⅰ (教科別に府内公立高等学校において授業を参観) 授業参観Ⅱ (初任者配置校において研究授業、公開授業を参観)	授業参観Ⅰ 「授業の達人」(教科別に府内公立高等学校において授業を参観) 授業参観Ⅱ (教科別に府内公立高等学校において授業を参観) 授業参観Ⅲ 「授業の達人」(教科別に府内公立高等学校において授業を参観) 授業参観Ⅳ 夢・未来校等(中学校)(実践発表及び授業を参観)
特別支援学校	授業参観実習 (初任者配置校において研究授業、公開授業を参観)	授業参観Ⅰ (初任者配置校において研究授業、公開授業を参観) 授業参観Ⅱ 夢・未来校等(小学校)(実践発表及び授業を参観) 授業参観Ⅲ 夢・未来校等(中学校)(実践発表及び授業を参観)

勤労体験・自然体験等の研修講座の拡充

平成19年度のねらい

○近隣の専門学科を設置している高等学校での実習体験を通して自らの識見を高めるとともに、進路指導等の教育活動に生かす。

○キャリア教育の一環としての「しごと体験」を行い、キャリア教育に関する指導力量を高める。

【講座内容】

○農業科等設置の高等学校での実習(小・中学校)
 北桑田高等学校・桂高等学校・須知高等学校
 農芸高等学校・綾部高等学校・海洋高等学校

○「私のしごと館」での実習や体験(高等学校)

初任者・新規採用者研修の成果を生かす「2年目共通講座」を新設

初任者・新規採用者研修

センター研修
 トークセッションを通して
 2年目1学期の自主課題を設定

活用

2年目1学期

研修を生かした
 実践レポートの作成

2年目共通講座【新規】

実践の検討

実践力の
 向上

指導者養成講座を充実させます

講座の改編2



経験豊かな教員が大量に退職する時代を迎え、各学校において指導力量を備えた教員を養成することが喫緊の課題となっています。「指導者養成講座」は、次代を担う指導者層の養成のための講座です。

平成19年度は、地元企業と連携し、講座の充実を図るなど、より実践的な内容に改編します。

マネジメント能力等の向上を目指し、地元京都の企業と連携

民間企業等の持つノウハウを活用することにより、より高い専門性と広い社会性を身に付けることにつなげます。

「学校組織運営」特別講座シリーズⅠ～Ⅴ

シリーズⅠ

- 自らの教職キャリアに関する自覚
- 学校組織における自己の役割の自覚

シリーズⅡ

- 「学校組織マネジメント」の考え方
- 学校を取り巻く内的、外的環境の分析

シリーズⅢ

- 学校のミッション
- 学校におけるビジョンづくり

シリーズⅣ

- 顧客発想による業務の企画・運営
- 目標設定の在り方と目標管理

シリーズⅤ

- 情報発信の必要性
- プレゼンテーション能力の向上

—企業に学ぶマネジメント—

地元の企業と連携し、企業から見た組織運営の在り方と企業経営の考え方について学びます。

見学企業：エイラクヤ

講師：京都リサーチパーク

EBS センター所長 中川普巳重

小学校中学校「学校組織マネジメント」 特別講座シリーズⅣ

- ・人材育成
- ・OJTの考え方

講師：サイネット研究所代表 田代千明

府立学校「学校組織マネジメント」 特別講座シリーズⅣ

- ・人材育成
- ・OJTの考え方

講師：PHP セミナール講師 山本良紀

小学校中学校授業実践指導者養成 特別講座シリーズⅡ

- ・コミュニケーション能力向上
- ・コーチングスキルの向上

講師：ホンマドットコム代表 本間直人

「教育相談コーディネーター」としての力量の向上

教育相談指導者養成特別講座シリーズⅠ～Ⅴ

- 校種間の連携がより進められるように校種間の協議を充実
- 児童生徒理解を深め組織的な対応ができる力量の向上

「教育の情報化」を積極的に推進し、ICTを活用した授業づくりを推進できる力量の向上

ICT推進指導者養成特別講座シリーズⅠ～Ⅲ

- マルチメディアコンテンツなど、授業で活用できる教材の作成演習
- 授業で活用するためのICT環境の構築実習
- ICT活用の推進に関する指導者としての役割の理解

個性の伸長や得意分野づくりを支援するため選択講座を拡充します

講座の改編 3



教職員一人一人の課題意識やニーズに応じて、さらに多様な講座を開講し、個性の伸長や得意分野づくりを支援

〈18年度〉

〈19年度〉

教 科	18年度	19年度
教 科	<小学校教諭対象の講座> 16講座	授業実践講座国語科(大学) 新規 ・「わかる授業」を創造するための発問の在り方、指導計画の作成等を学ぶ。 授業実践講座算数科(大学) 新規 ・一斉授業の中で児童が学習目標を持てるような学習の在り方について学ぶ。 等 23講座
	<中学校教諭対象の講座> 15講座	授業実践力向上講座国語科(大学) 新規 ・日本文化と日本文学を学ぶことにより、高度な専門性を身に付ける。 実践力向上講座数学科(大学) 新規 ・教科内容の独自性と連続性に基づく指導について学び、実践力の向上を図る。 等 16講座
	<高等学校教諭対象の講座> 12講座	実践力向上講座外国語科英語(大学) 新規 ・授業改善のポイントや手法を学び、実践的指導力を身に付ける。 実践力向上講座理科(物理)(大学) 新規 ・電子工学の先端研究に触れ、物理教育法の改善について考える。 等 19講座
	<特別支援学校教諭対象の講座> 10講座	「学習指導法」講座(大学) 新規 ・障害のある児童の発達特性を踏まえた教科指導の在り方について学ぶ。 等 15講座
領 域 等	<小学校教諭対象の講座> 22講座	コミュニケーション能力向上講座(企業等) 新規 ・グループ演習を通し、教員に求められるコミュニケーションスキルを習得する。 プレゼンテーション能力向上講座(企業等) 新規 ・相手の納得を引き出す話し方について演習を中心に理解を深める。 等 29講座
	<中学校教諭対象の講座> 22講座	コーチング基礎演習講座(企業等) 新規 ・やる気を引き出し、自発的行動を生み出すコーチングの基礎を理解する。 メンタルヘルス講座(企業等) 新規 ・心理的アプローチの視点からストレス耐性を高める工夫を体験的に学ぶ。 等 30講座
	<高等学校教諭対象の講座> 12講座	高度情報化とセキュリティ講座(大学) 新規 ・ネットワークの運用管理、システムのセキュリティポリシー等について学ぶ。 等 19講座
	<特別支援学校教諭対象の講座> 21講座	自閉症スペクトラムの発達講座(大学) 新規 ・自閉症等の児童生徒を中心に、配慮事項及び指導内容等について学ぶ。 等 34講座

※上記以外の校種からも受講可能です。詳しくは、「講座の概要」をご覧ください。

2～5年目研修、10年期研修の
選択講座を拡充します。

2～5年目研修	10年期研修
37講座 → 76講座	19講座 → 38講座

人材育成の力を結集し、「地元パワー」を活用した研修講座を充実させます

講座の改編 4



地元京都の大学との連携を強化します

- 地元京都の大学に講座を委託し、より充実した形で実施します。

連携大学（1大学→11大学）

- 「教科」に関する専門研修講座（13講座） 新規
 - ・小学校授業実践講座・・・9講座
（国語科、算数科、社会科、理科、音楽科、図画工作科、生活科、体育科、家庭科）
 - ・中学校・高等学校実践力向上講座・・・4講座
（国語科、数学科、理科〈物理〉、英語科）

講座紹介 1

中学校・高等学校実践力向上講座 数学科

日時 平成19年9月25日（火）10:30～17:00

会場 京都産業大学

講師 助教授 牛瀧 文宏

講座内容

小・中・高の算数、数学の学習内容及び指導方法の関連について、受講者の実際の授業場面のVTR等を活用して、授業分析を行う。

- 「領域等」に関する専門研修講座（5講座） 新規
 - ・不登校・いじめの心理学講座
 - ・高度情報化とセキュリティ講座
 - ・LD、ADHD等の理解とサポート講座
 - ・「京のひと・まちづくり」講座Ⅰ・Ⅱ

講座紹介 2

不登校・いじめの心理学講座

日時 平成19年8月24日（金）10:30～17:00

会場 京都文教大学

講師 人間学部長 森谷 寛之

講座内容

不登校やいじめの未然防止・早期対応のための心理学の基本的な内容の講義及び実習を通して児童生徒の内面理解を深める。

講座紹介 3

「京のひと・まちづくり」講座Ⅰ

日時 平成19年9月26日（水）10:30～17:00

会場 京都府立嵯峨野高等学校

講師 関西外国語大学 教授 堀井 令以知、京都産業大学 教授 井上 満郎

講座内容

京都府の歴史、自然、ことば等の研究者から「ふるさと京都」の伝統、文化の継承の視点、府立嵯峨野高等学校の「京都文化論」の授業参観や研究協議から児童生徒が自らの発見を考察につなげる地域学習の教材開発の考え方や手法を学ぶ。

地元京都の民間企業との連携講座を始めます

- 平成19年度から地元京都にある民間企業や研究機関が持つ優れたノウハウを活用した研修講座を実施します。

□ コミュニケーション能力、メンタルヘルスに関する講座

新規

- ・コミュニケーション能力向上講座
- ・プレゼンテーション能力向上講座Ⅰ・Ⅱ
- ・コーチング基礎演習講座
- ・コーチング実践講座
- ・メンタルヘルス講座Ⅰ・Ⅱ

講座紹介4

コーチング実践講座

日時 平成19年8月2日(木) 10:30～17:00

会場 大谷大学

講師 ホンマドットコム 代表 本間 直人

講座内容

「目標達成支援のためのコーチング」等の実践的な演習を通し、「相手のやる気」を引き出すコミュニケーションスキルについて学ぶ。

この研修講座は、小学校中学校授業実践指導者養成講座シリーズⅡとしても位置付けています。

□ 組織マネジメントに関する講座

新規

- ・部長・主任企業体験講座Ⅰ・Ⅱ
- ・「学校組織運営」特別講座シリーズⅣ
- ・小学校中学校「学校組織マネジメント」特別講座シリーズⅣ
- ・府立学校「学校組織マネジメント」特別講座シリーズⅣ
- ・教育実践特別講座(企業等)

講座紹介5

部長・主任企業体験講座Ⅰ

日時 平成19年6月22日(金) 13:00～17:00

会場 総合教育センター

講師 JR西日本商事 監査役 北原 洋司

講座内容

ホテル再建の責任者として、顧客発想の視点からホテルの部署毎の組織目標を連鎖させた手法や従業員の「やる気」を引き出すコミュニケーション等について学ぶ。

さらに、ミドルリーダーとしての組織運営、特色ある学校づくりや組織目標の設定、教育活動の成果の公表等に生かす。

講座紹介6

教育実践特別講座

日時 平成19年8月22日(水) 13:30～17:00

会場 総合教育センター

講師 P H P 総合研究所 社長 江口 克彦

講座内容

企業における経営や人材育成の考え方を学び、職場におけるコミュニケーションの活性化、組織的協働についての理解を深め、ミドルリーダーとしての役割について考察する。

(紹介講座の講師名はすべて敬称を略させていただきます。)

不登校やいじめなどの今日的な課題への対応

講座の改編5



不登校やいじめの未然防止と早期対応に向け、
研修講座を充実させます

□ 不登校・いじめに焦点をあてた講座

不登校やいじめの未然防止・早期対応のために、実践的指導力の向上を目指します。

- 「不登校・いじめの心理学講座（大学）」 **新規**
- 「不登校研究講座」
- 「生徒指導講座」

□ 不登校・いじめに関する内容を取りあつかう講座

若手教職員に向けて

初任者研修、新規採用者研修養護教諭講座
3～5年目研修「共通」講座

全教職員に向けて

- 「人権教育講座」
- 「道徳教育講座」
- 「教室における教育相談講座」 **新規**
- 「教育相談実技実践講座（大学）」
- 「教育相談指導者養成特別講座」
- 「教育相談事例研究講座」
- 「特別支援教育実践講座」
- 「特別支援教育コーディネーター養成（LD等）講座」



メンタルヘルスに関する講座内容を充実させます

自らのメンタルヘルスについて理解を深め、ストレスへの実践的な対処法を学ぶことにより、校内における心の健康づくりにつなげます。

- 「メンタルヘルス講座Ⅰ（企業等）」 **新規**
- 「メンタルヘルス講座Ⅱ（企業等）」 **新規**

校内研修を支援する講座を実施します

講座の改編 6



「京の国語力向上のための指導資料」を活用する講座を実施

新規

「京の国語力向上のための指導資料」を作成しました。国語力向上の視点を持った授業づくりや、国語力育成を目指した校内研修にご活用ください。
センターでは、この資料を活用して「国語力アップ促進講座」等を開講します。

国語力アップ促進講座

・国語力が各教科の指導内容の定着に重要な役割を果たすことを理解し、実践的指導力の手だてを学びます。

教職経験2～5年目研修授業実践演習「授業技術」講座

・国語力育成の視点について理解するとともに、教科等の特性に合わせた国語力育成のための指導方法を検討し、指導力の向上を図ります。

講座での活用

「京の国語力向上のための指導資料」

- 指導のポイントを明確にして実践できるように
- 指導の方向性を定めて実践できるように
- 各教科・領域等で活用できるように



育てるべき力を表に
まとめたマトリクス



80の指導例

学校での活用

- 日々の実践の指針として
- 授業計画立案に
- 教育課程編成に
- 重点研究の推進に

「校内研修ハンドブック」を活用する講座を実施

新規

「校内研修ハンドブック」は、校内研修の企画・運営において参考になる事例等を収集し、掲載しています。センターでは、この資料を活用して「校内研修支援講座」と「授業実践指導者養成特別講座」を開講します。

授業実践指導者養成特別講座

・講義や演習を通して授業分析の力量を高めるとともに、校内研修等を推進するための力量の向上を図ります。

校内研修（授業実践）支援講座

・OJT活性化の視点に基づき、授業研究を中心とした校内研修の活性化について学び、校内研修を推進するための力量の向上を図ります。

講座での活用

校内研修ハンドブック

- 日常の研修の場で活用しやすいように
- 校内研修の改善策を見出しやすいように



具体的な課題を想定した
Q & A形式で編集



具体的な「参考例」を
豊富に掲載

学校での活用

- 校内研修の課題解決に
- OJTの活性化に
- 年間の研修計画立案に
- 多様な方法による授業研究に

現地現場のニーズに対応します

「出前講座」を新設 新規

講座の改編 7



平成19年度の出前講座は下記の6講座を開講します。

- 「各教科ではぐくむ国語力講座」
- 「小学校理科実験実習講座」
- 「校内研修（授業研究）講座」
- 「特別支援教育コーディネータースキルアップ講座」
- 「幼稚園における特別支援教育講座」
- 「高等学校における特別支援教育講座」

例えば「高等学校における特別支援教育講座」では…

- 高等学校の校内研修等に所員を派遣します。
- 学校のニーズに応じて、事前に十分相談しながら、研修内容や研修方法を組み立てていただきます。
- 研修内容としては、例えば次のようなものが考えられます。
 - ・ LD、ADHD、高機能自閉症、アスペルガー症候群等の生徒の理解と指導・支援
 - ・ 障害のある生徒への指導・支援と校内支援体制
- 研修方法も、講義、演習、事例検討、研究協議など様々な方法が考えられます。

平成18年度研究事業の成果をITECに随時掲載

- 「学びの基盤としての国語力の育成」
（京の国語力向上のための指導資料）作成
- 「地域や学校における特別支援教育体制の充実」
- 「実験実技実習教科における教材・教具の工夫と改善」

英語eラーニングの対象校種を拡大しました

- センターが提供する英語学習システム「英語eラーニング」の対象校種をこれまでの府立学校から府内公立中学校の英語科教員等に拡大し、より利便性を向上させて実施しています。

講演 「ゆれ動く子どものころ、親のころ」

京都大学大学院 藤原 勝紀先生

教育心理学博士・臨床心理士

「心がゆれ動く」という言葉の響きには、「ゆれ動いてしまうことは悪い」という印象が一般的にはあって、「心が動かずに安定している」ことのほうがよいと思われるのではないのでしょうか。

実は、心というものは「ゆれ動く」のが当たり前なんです。人間や動植物、生きているもの全て「呼吸」をしていますね。呼吸をして「からだ」も「ころ」も常に「ゆれ動いて」いるものなのです。これが「生身(なまみ)」であるということなのです。

■ 緊張と弛緩 ■

私たちはふだん何気なく呼吸をしています。息を吸うという営みで自分の身体に緊張の状態をつくっているとも言えます。息を吸い込んで、グッと気合を入れて、「さあ、やるぞ」というように、吸気は緊張の状態に自分の身体や心を持っていかうとする営みです。一方、吐気は弛緩の状態をつくる営みです。ふーっと息を吐いてリラックスした力の抜けた状態をつくろうとします。

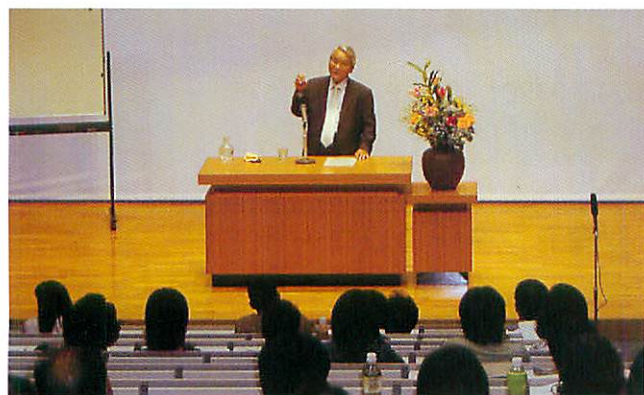
人は絶えず緊張と弛緩の間を行き来しています。極限まで吸い込んだり、吐いたりすると当然、「死ぬ」わけで、吸気と吐気の程よいバランス、つまり緊張と弛緩のバランスの中で「ゆれ動き」ながら生身の人間は生きています。

■ 悩む力 ■

人の「痛み」か「苦しみ」が極限までいくと、その痛さや苦しさは鈍麻するものなのです。例えば統合失調症のような精神病圏の患者さんの感情が動かなくなってしまうことがあるように、極(きょく)のところでは鈍麻するものです。痛いとか辛いと自分の苦痛を表現したり、症状が出せたりするということは人間が生身だからなのです。「悩む」というのは本来人間が持つ健康な力なのであり、「悩む」ということは、揺れ動きながら健康さを保とうとする健康な働きであるとも言えるのです。

■ 主観と客観 ■

主観的に見えているものと客観的に見えているものの差を「からだ体験モード」で学んでみましょう。



- ①二人でペア(A、B)をつくる。
- ②Aはつま先を90度にかけてリラックスして立つ(弛緩の状態)。
- ③Aはつま先を閉じて、目を閉じてみる(緊張の状態)。Bは見ている。
- ④③の状態で立っているAは、自分のからだに感じる「主観的な揺れ」をBに報告する。
- ⑤Bは、隣に立っているAを見ながら、「客観的な揺れ」をAに報告する。

ちょっとした空き時間の職員室でもやってみるといいでしょう。Aは「ものすごく私は揺れている」と主観的に報告し、Bは「ちょっとしか揺れていない」と客観的に報告することがほとんどです。実際に体験してみると、主観的な見え方と客観的な見え方の差にみなさんは驚かれるだろうと思います。

親や教師は、この主観と客観の二つの眼差しを子どもの「ころ」に向けていることが大切に思うのです。

■ こころの剥き出し化 ■

会場の皆さんは「眠いけど我慢して起きている」(笑)わけで、「眠いなあ」という「ころ」が居眠りという行動になってすぐに現れることはないわけです。ところが、昨今のいじめや少年事件等をもても、「ころの中で起こっていること」をすぐに表現して言語化、行動化するということが圧倒的に多いのではないかと思うのです。「ころの中で起こっていること」から「言語化、行動化」へのプロセスが短くなってきているのではないかと思えるのです。そのプロセスの短さというのは、言い換えると「ころ」の未熟化、幼児化であり、「ころの剥き出し化」とも言えるでしょう。

私たちは、世界の国々から高度成長期以降、自己主張しない日本を揶揄されて「思っていることを素直に言いなさい」と子ども達を教育してきました。その子ども達が今の親世代でもあり、教育再生会議等でも「親学」なるものが議論されていますが、「ころの剥き出し化」ということを日本の教育全体の在りようとして考えることも必要であると思うのです。

教育研究プロジェクトがスタートします

学校支援に向け、研究機能を強化

- 学校の課題や特色づくりに応じた研究
- センターと各教育局・教育委員会や研究協力校と連携した横断的な研究体制をつくれます。
- 各学校に研究の成果を還元できるように、日々の教育活動や学校現場を支援する内容の研究を推進します。

平成19年度の教育研究プロジェクト

1 数学科における学力向上授業モデルの開発 (2年間)

学力診断テスト、各種学力調査等の問題分析をもとに他教科との関連、日常生活にかかわる事象をもちいた授業モデルを研究開発します。

2 各教科等における学力の基盤としての国語力の育成に係る指導方法の研究 (1年間)

研究協力校と連携し「京の国語力向上のための指導資料」の検証を行います。

3 授業づくりに役立つ小学校理科実践事例コンテンツの開発研究 (2年間)

小学校理科における観察・実験を通じた効果的指導方法を研究し、各小学校に授業実践例を配布します。

4 自閉症の特性に応じた指導内容の開発 (2年間)

自閉症の特性に応じた効果的な指導内容を検討し、指導方法、教材教具の開発をします。

府立学校教職員のための電話相談窓口 (075) 612-3048

セクシュアル・ハラスメントに係る相談窓口・教育実践に係る相談窓口
木曜日（祝日を除く）午後1時から午後7時まで

京都府総合教育センター 〒612-0064 京都市伏見区桃山毛利長門西町

TEL (075)612-3266 (代表) FAX (075)612-3267

企画研究部 (612-2950) 研修・支援部 (612-2952)

特別支援教育部 (612-2953) 教育相談部 (612-2959)

ふれあい・すこやかテレホン (612-3268または3301) 毎日(24時間対応)

<http://www1.kyoto-be.ne.jp/ed-center/> E-mail ed-center@kyoto-be.ne.jp

北部研修所 〒623-0012 綾部市川糸町堀ノ内

科学技術教育部 TEL (0773)43-2934 FAX (0773)43-2935

ふれあい・すこやかテレホン (0773)43-0390 毎日(24時間対応)

E-mail ned-center@kyoto-be.ne.jp



—京都府総合教育センターのロゴ—

京都の「kyo」の文字をモチーフとし、教職員がそれぞれのライフステージに応じた継続的な自己研鑽により、資質能力の向上を図ることで学校教育に寄せられる期待に応える姿を表しています。